

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
1. 理念に基づく運営			
k			
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型のグループホームとして、開所以前より適切な理念をつくっている。	
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員採用時に理念を伝えと共に、常に理念の統一と実践が出来るように振り返りを行っている。	
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にされた理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	運営推進会議において日々の取り組みなどの説明を行うと共に、イベント時は地域の方や家族への参加なども行い、日々の取り組みを理解して頂くよう努めている。	運営推進会議への家族参加を呼びかけていく。
2. 地域との支えあい			
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩時の交流にはじめ、イベントへの参加への声掛け行い、日頃から入りやすい環境を作っている。	地域の方と利用者様が、中庭などで季節の花々や野菜作りなどを行って頂いている。
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入している。当施設におけるイベントへ地域の方の参加を声掛けを行うと共に、地域主催のイベント・お祭りなどへの利用者様の参加を行っている。	運営推進会議で頂いた情報を活かし、地域への参加の機会を増やしていく。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	ヘルパー養成研修の実習先として実習生を受け入れている。		地域の方々に認知症の理解を深めて頂く場の提供を行っていく。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価・外部評価の意義や結果を伝え、日々の業務に取り組んでいる。自己評価表等常に閲覧できるようになっている。		評価内容の振り返りを行い、スタッフの質の向上と利用者様のより良い生活環境の提供に努めていく。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	日々の取り組みや、評価の内容説明と取り組みについて報告を行い意見交換を行い質の向上を図っている。		運営推進会議へ多くの方々が参加していただけるよう努めている。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	随時、市町村担当者と連携を持ち、利用者様がより良い施設生活を送って頂ける様にしている。		電話だけでなく直接市役所へ出向き、質の向上を図っている。市町村担当者へ運営推進会議への参加を声掛けしていく。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	職員研修会を行っている。制度の必要のある利用者様や御家族へはアドバイス等含め支援を行っている。		今後も継続し研修等の機会を作る。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員研修会を行っている。職員が無意識に行っていないかなど含め、相互に職員間のケアの評価を行い管理者へ相談できる環境を作っている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4.理念を实践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>文書にて提示するだけでなく、御家族や利用者様に分かりやすい言葉にて説明を行い理解していただけるよう努めている。利用者様の状態変化時など予測を含め、御家族と随時話し合いの場を設けている。</p>	<p>御家族との関係作りを行い、より些細な事がらでも話し合える環境を作る。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>介護相談員の受け入れを行っている。利用者様の何気ない言動を感じ取り反映させている。</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>金銭管理の状況等、月1回御家族へ送付している。その他、随時御家族への報告含め、月に一度新聞の発行や生活状況・イベント等の写真掲示を行っている。</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱の設置を行っている。その他、意見の話しやすい環境・雰囲気作りを行っている。意見等はカンファ時等にて議題にに対応を行っている。契約時等に苦情の受付方法について説明を行っている。</p>	<p>家族会の開催を検討している。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員向けの意見箱を設置してある。その他、管理者などへ報告・相談など行いやすいよう職場環境作りを行っている。</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>運営者および管理者は、その日・その場での状況を把握し勤務の調整を行っている。</p>	
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>ユニット合同によるイベントや体操・散歩なども行っており、普段から他のユニットの職員とも顔なじみになれる関係を作っている。</p>	<p>離職者を最小限に抑えるよう今後も取り組んでいく。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>運営者は、事業所外における勉強会・研修などの情報を施設内に掲示し参加の機会を作っている。施設内において定期的に各種の勉強会を行っている。勉強会の内容等閲覧できるようにしている。</p>	
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>運営推進会議において、他の事業所・他職種の方々との交流の機会があり、情報の交換と連携を図る取り組みを行っている。</p>	<p>より多くの事業所との交流を持つ機会を増やし、情報交換や相互交流・評価を行っている。</p>
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>職員休憩室をフロアとは別の場所に配置し、休息を取る場を設けている。日常的に運営者・管理者へ話しやすい環境作りを行い、年に2回忘年会・暑気払いを行い職員間の交流の場を作っている。</p>	<p>運営者・管理者は職員のより良い環境づくりを行うために、情報の共有を行っている。</p>
22	<p>向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>運営者は適時フロアへ来られ、職員個々の状況の把握を行っている。資格取得には力をいれサポートを行っている。</p>	
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>本人との事前面談を行い、状態・生活環境の把握を含めご本人の不安の聞き取りを行っている。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>相談時に家族の思い・意向をうかがう際お話ししやすい環境を作りながら、事業所として支援を提案している。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人および家族の現状・要望を受け止め、必要とされるサービスを利用できるよう各職種が連携して対応している。		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	生活に少しでも早くなじんで頂ける様、なじみの物品のお持ち込みをしていただいている。御家族とも協力し面会の頻度や時間などの調整を行い、ご本人も安心して生活して頂けるようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	掃除や調理などの家事を含め色々な面において人生の先輩より学ぶという姿勢を持ちながら利用様と生活を共にし、楽しいみや悲しいことなどの時間の共有を行っている。		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	御家族と職員により共に利用者さまの生活を支えていくため、情報の共有を図ると共にイベント等への家族参加を呼びかけ時間の共有を行っている。		
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	個々の家族関係に合わせ、臨機応変の対応を行っている。無理の無い家族との外出・外泊をはじめ、手紙や葉書きをだしたり等つながりを持つ。		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域のイベントやお祭り等への参加。なじみの美容室への外出、墓参りなど御家族にも協力していただき交流の場を持っている。		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	利用者様個人を理解し、利用者様同士の相性を把握し日々快適に生活していただけるよう支援している。利用者様が孤立してしまわないよう職員からの関係作りを行っている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	当施設を退去後も退去先に関わらず情報の提供や相談にのっている。		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	御家族からの生活暦などの聴き取りに加え、ご利用者様と何気ない会話・表情からの情報収集を行い把握に努めている。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時の聴き取りに加え、日常的な会話の中からの情報の収集を行い、支援を行っている。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日常生活の中から小さな変化も見逃さず、より良い生活を送って頂けるよう情報の共有を行い、支援に生かしている。		
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者様・御家族含め各職種のより情報の収集し、カンファレンスをもとに介護計画の作成を行っている。		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用者様の状態・状況の変化に伴い臨機応変に話し合いの場を持ち、介護計画の変更・見直しを行っている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日常生活記録や個別記録など利用し、日々の生活状況を職員間で共有することにより介護計画作成へも役立っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	提携医との連携を持ち24時間の健康管理を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	社会福祉協議会からのボランティア参加協力して頂いている。		運営推進会議へは民生委員の方が参加している。
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	運営推進会議等で他事業所のケアマネジャーとの情報の交換や、話し合いの場を持っている。また、同一法人内の居宅介護支援センターとの連携をとり必要に応じ対応を行っている。		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議へ包括支援センターのケアマネジャーに参加していただき、情報交換を行っている。		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	必要に応じ入所以前からの医療機関との連携を図っている。その他病状が安定するなど可能であれば、当施設提携医への変更の相談を行っている。		提携医以外にも協力病院があり受診等の支援を行っている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	提携医により利用者様の状態などに応じて、他院への紹介を行っている。		
45 看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	日常の医療・健康状態を把握している看護職員・医師と24時間体制にて連携をとり健康管理を行っている。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院に際し家族等の同意の下、情報の提供を行う。入院中・退院時等、家族や医師・看護師などより病状等の把握を行い連携を図っている。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入所時に、当施設における終末期に向けた方針の説明を行っている。利用者様の状態に合わせ、早期より御家族と今後の意向等を伺い対応等を検討している。		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	利用者様ご本人や御家族の意向をふまえ、医療機関との連携を図りながら最善のケアが提供できるよう配慮している。		
49 住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	他事業所等へ移られる際は十分な情報提供を行い、利用者様が生活の継続が行えるよう支援している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>当施設の理念に利用者様への尊厳が謳われている。又、常にプライバシーの保護を念頭に業務にあたっている。</p>	<p>今後も定期的に研修会などを行っていく。</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>利用者様個々に合わせた対応を行い、自己決定を行えるよう支援していくと共に表出できない利用者様への意向を表情やしぐさで感じとりながら支援している。</p>	
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>一日の流れは概ね決まっているが、利用者様の今やりたいことを尊重し個々のペースにて生活して頂けるよう支援している。</p>	
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>御家族と連携を図り、その方らしい衣類の提供を行い、整容に努め状況に応じ居室での整容の支援を行う。</p>	<p>御家族の協力により季節ごとの衣類の入れ替えなどを行っている。近隣の美容室での理美容を行っている。</p>
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しくしみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>準備から片付けまで個々の利用者様の状態に合わせて共に行い食事をゆっくりとしたペースで楽しんで頂ける様な会話の提供を行う。</p>	<p>「出来ること」を見極め役割の提供をしていく。</p>
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>飲み物の提供時等好みの物を選んで頂き、飲み物の提供を行う。</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	<p>気持よい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>	<p>個別にて排泄パターンの把握を行い支援すると共に、羞恥心に配慮した声掛けを行う。</p>		<p>カンファレンス等で排泄パターンの再検討とケアの統一を図る。</p>
57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>週3回の入浴が可能であり、好きな人同士での入浴・好みの湯温調整・唄を歌いながらの入浴等により楽しんで頂ける様支援している。</p>		
58	<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	<p>個々の睡眠パターンを把握し日中の活動と休息のメリハリを作るよう支援する。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>日常生活の中から楽しみや張り合いが持てるよう個人を知り、その方に合った日々の役割や楽しみを見つけ出して頂ける様支援している。</p>		<p>家族からの情報とご本人との日常会話の中から好きなこと・興味のあること等を把握し支援につなげている。</p>
60	<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>日常生活物品の購入時など本氏と同行し、自分の物は自分で選び購入して頂ける様支援している。</p>		
61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>散歩や買い物への支援を日常的に行い、春は花見秋は紅葉など季節を感じていただけるよう支援している。</p>		
62	<p>普段行けない場所への外出支援</p> <p>一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している</p>	<p>家族との連携を図り、墓参りなど行い、精神的な安定を図る。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	季節折々の手紙や絵手紙など送っている。電話使用時は、ゆったりと会話していただけるよう配慮を行っている。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会に際し、時間・曜日の指定など行わず、いつでも来所していただけるように配慮している。来所時は、フロアにてお茶や会話を楽しむなど、和やか追うな雰囲気作りをしている。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束はしていない。徘徊される方などへは、安心の声掛けと見守りにて対応を行うようにしている。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	10時～16時の時間帯は施錠せず開放されている。緊急時などは、最小限にて施錠すれ旨を事前に家族へ説明行い施錠している。		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に利用者様の状況・状態が把握できるよう目配りを行い対応出来るようにしている。		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	包丁・薬等の危険物品は日常的に職員管理しているも、日中個人々に合わせた物品の提供や見守りでの使用を行っている。		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	マニュアルがあり統一した認識と対応を行っている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	全ての職員が同じ対応が出来るようマニュアルがある。その他個別での危険予測を検討し事故防止に努めている。		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルがあり統一した対応が出来るようにしている。防災訓練を利用者様と合同にて実施している。		日頃より地域の方との交流を図り、万が一に備え利用者様含め顔なじみになる。
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	個人の必要に応じ随時話し合いの場を持ち、より良い生活をして頂けるように支援している。		
ン				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタル測定に加え、入浴時やその他の更衣時などに体の状態変化を見逃さず観察し、小さな事ながらも情報の共有を行っている。		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師による内服薬の必要性、および効果など本人への説明にくわえ、職員もお薬説明書により薬の内容や副作用なども把握し内服の支援と副作用等にも配慮した経過観察を行っている。		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	個人に合わせた体操や散歩にて身体機能の維持・向上を図ると共に、乳酸菌を含む飲食物の提供を行っている。その他、個別にて起床時の水分促がしを行っている。		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケア促がし・介助を行い口腔内の観察を行う。義歯は毎夜間帯洗浄を行い清潔を保持している。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日を通した総カロリーや栄養の過不足の無いよう調整を図っている。水分摂取の少ない方へは、時間を置きこめな水分促がしを行っている。		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	マニュアルがある。予防接種や衛生管理の徹底を行っている。季節毎流行する感染症について対応の強化を図り再学習を行っている。		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理具や布巾など毎日消毒を行い使用している		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関や建物の周りに木々や季節の花を配置し、親しみやすい雰囲気作りを行っている。		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居間に掘りごたつのある畳部屋があり、庭が見え季節の花を見ることにより四季を感じることができる。		畳部屋の障子にて外光の調整を行っている。テレビの音量・職員の声の大きさへの配慮を行っている。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	同じ居間の空間に、テーブルイスやソファ・畳部屋の掘りごたつと個々にくつろげる空間がある。		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に日常使い慣れた物をお持込いただき、好みに応じた環境作りをしている。		
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	季節により、温度調節を行っている。随時の換気を行い空気の入替えを行っている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	室内はバリアフリーで整備され、個々にあわせた物品の使用を行っている。(ベットや布団・ポータブルトイレ・入浴時のイスなど)		
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	場所や物品の混乱を避けるため、分かりやすい言葉での張り紙など工夫を行っている。		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	中庭での園芸やお茶会・食事など行い、四季を通じ利用している。		

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

持てる力、「出来ること」を見い出し発揮できる場を提供することにより、日々の楽しみを持ち、笑顔にて過ごせ一日でも長く、利用者様一人一人が自身のペースでの生活を継続できるよう支援している。施設の中での生活だけでなく、地域やなじみの場への外出などもすすめ、社会とのつながりを持つ場の提供を行っている。利用者様は、人生の先輩である、という視点を常に持ち、利用者様から学び、職員一人一人も向上を目指している。